

道徳科の授業づくりシート

教材名 二人の弟子	内容項目 D-(22) よりよく生きる喜び
ねらいとする価値（学習指導要領を基にした指導の要点） 自己の弱さに気づき、向き合い、受け入れることを通して、強く気高く生きようとしたり、人間として生きる喜びを見いだそうとしたりする。	
生徒の実態（略）	

主 題 名

弱さの克服の先に

導入 以下の内容の質問で、高校入試が迫ってきていることを自覚し、受験勉強における自分の弱さに気付く。
（進路実現に向けて、どれくらい本気で取り組んでいますか。また、受験勉強においてどのような“弱さ”が出る可能性がありますか。）

本時のねらい

自分の弱さに気づき、向き合い、受け入れることを通して、強く気高く生きようとする道徳的態度を育てる。

基本発問（中心的な発問を活かすための発問）

- ①教材に出てくる「人間の弱さや醜さ」を挙げよう。
- ②智行が、寺に戻りたい道信や、道信を受け入れる上人に対して“怒り”を覚えたのは、どのような気持ちからだろう。
- ③月の光の中に立ち、“涙”を流す智行は、何を考えていたのだろう。

中心的な発問

「人は皆、自分自身と向き合って生きていかねばならないのだ」という言葉には、どのような想いが込められているのだろう。

指導方法の工夫

- 中心的な発問は、まずは個人で考え、その後、多面的・多角的に考えることができるようにするために、他者との話し合いを促す。
- 生徒がこれまでの生き方を振り返ったり、これからの生き方に夢や希望をもったりするために、書く活動を通じた自己内対話の時間を十分に確保する。

終末 書く活動を通して自己内対話を促し、これまでの自分の生き方を振り返ったり、これからの自分の生き方について考えたりする。その後、教師の説話を聞く。

（板書計画の例）

弱さの克服の先に

